

平成25年 9月28日

まちづくり意見提案書

柴田町長 殿

（提案者） 豊川光雄

次のとおり提案します。

1	提案の名称	しばた100選の選定
2	現状・課題	<p>平成23年度、タウンセールスワークショップの開催案内があり、公募枠で参加させていただきました。メンバー11名のうち公募は1名でした。</p> <p>「花のまち柴田」をコンセプトに、町の地域資源（自然、風景、歴史、特産品、観光・交流施設、体験型イベントなど）をめぐる魅力あるモデルツアーについて、地域住民の方の目線で、テーマやルートを検討・設定する。とっておきの情報などを盛り込みながら、広く町内外にアピールし、交流人口の増加を図ることが目的でした。</p> <p>3回の会合で、地域資源を生かすテーマとモデルルートが検討され、自然：38件、歴史・文化：28件、観光・体験：20件、食・物産：6件、合計92件を選定し、4つのモデルコースを設定しました。年度末には「ちょこっと、しばたび。」地域資源モデルコース編が刊行されました。その後、英語・中国語・台湾語版も刊行されています。</p> <p>「ちょこっと、しばたび。」では、公募を行ったにも関わらず、1名のみでした。町民の無関心が気になるところです。また、せっかく92件の地域資源を選定したにも関わらず、モデルルートがメインのため、名称と写真（半数のみ）、地図上に記号の表示でした。地域資源の解説記事がありません。</p>

3	目 標	<p>1. しばた100選の選定 人がいる 自然がある 暮らしがある まちが刻むリズムのもとで創られていく文化や歴史 過去から現在 そして未来へ 私たち柴田町民の誇れるたからものがあります</p>
4	意見提案の内容	<p>選定のテーマは「伝えたい、残したい」です。選考委員会を立ち上げ、3か月3回の委員会ではなく、十分審議する時間を設けます。場合によっては住民投票(?)のような形式を採用も考えたいと思っています。もちろん、「ちょこっと、しばたび。」で選定された地域資源も候補ではありますが、100選に漏れるかもしれません。</p> <p>2. 選考委員会 町民の皆さんから、公募等で選考委員会を立ち上げます。委員には学識経験者等をお願いすることがあります。選考委員会で選定方法等詳細を決めます。選定された100選によっては、ウォーキングマップの見直しが必要になる場合もあり。</p> <p>3. ジャンル 歴史、景観、文化、風俗、施設、食・・・、</p> <p>4. 選定結果の成果物 ・しばた100選(ウォーキングマップ付)を刊行します。 ・表：選定された100選：写真・解説・案内図、問合せ先、町民の声(お薦めの一言) ・裏：地図には100選の番号のみとします。 ・地図にはウォーキングマップをいれます。 ・折りたたみ手軽に持ってウォーキングできるサイズとします。 また、柴田町HPにアップします。</p> <p>参考： 百選(ひやくせん)とは、テーマに沿った事柄を100個集めたものであり、テーマは風景や草花、町、祭りなど多岐にわたる。多くの百選では、公募によって寄せられた意見を元に有</p>

		<p>識者が選定を行っている。多くは厳密に100個の対象が選ばれているが、中には104個選ばれている日本の道100選のように選ばれた数が100個でないものも存在する。</p> <p>100選をキーワードに検索すると、柴田町が選定されているものは、「桜の名所100選」、「新・日本街路樹100景」、「日本さくら名所百選」があります。</p>
--	--	---